

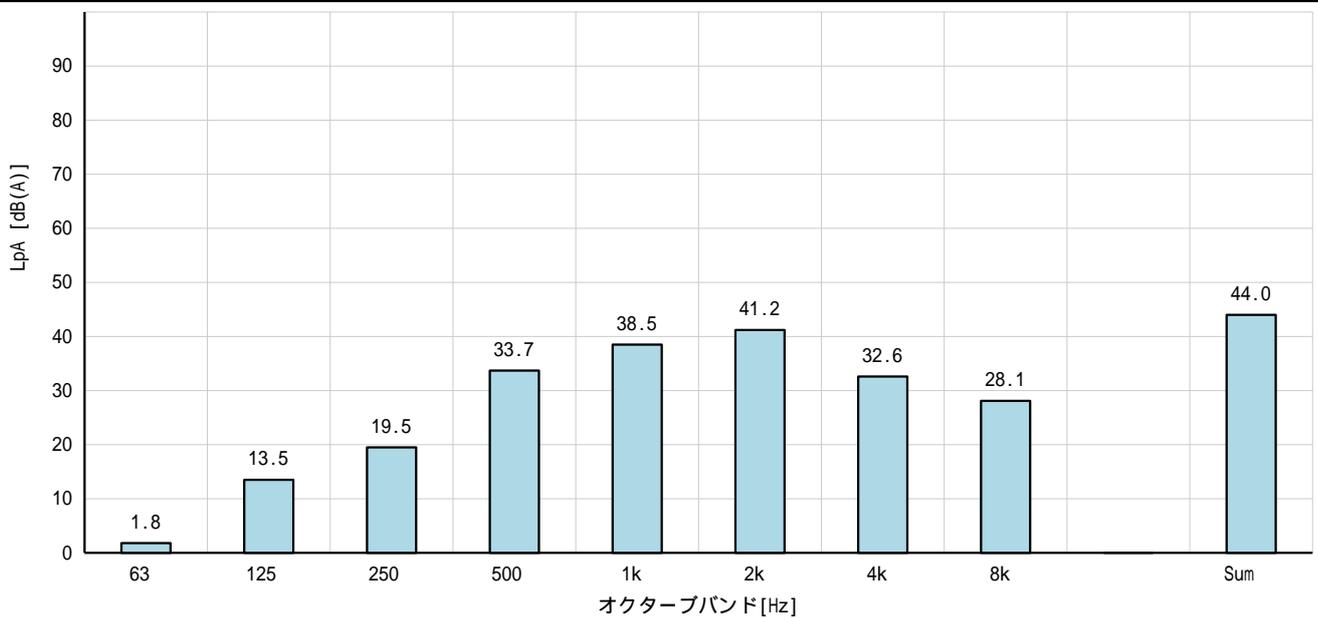
# 音響測定レポート

ISO 3745

オブジェクト: 電動機タイプ: MGE90SC 定格電圧: [V]  
 f: [Hz]  
 P2: [kW]  
 n: [rpm]

テスト条件: Load: No load / Idle サウンド試験: [V]  
 f: [Hz]  
 P2: [kW]  
 n: [rpm]

コメント:



音圧レベル  $L_{pA}$  : 44.0 [dB(A)]

音響パワーレベル  $L_{WA}$  : 56.0 [dB(A)]

注記:

•音響パワー値  $L_{WA}$  は IEC 60034-9、ISO 3745 および ISO 4871 に従って決定されています。

- 関連する不確かさ  $K_{WA} = 3$  [dB(A)]

- 「測定された騒音排出値および関連する不確かさの合計は、測定で発生する可能性がある値の範囲の上限を示します」

•IEC 60034-9の仕様に従って定格速度、負荷なしで検証された音響パワー。

- 「音響パワーレベルは、全負荷の状態において、通常負荷なしの状態よりも高くなります。一般に、換気騒音が優勢の場合、変化は小さくなります。

ただし、電磁雑音が優勢の場合、変化は大きくなる可能性があります」

- さらに、IEC

60034-9修正票1で説明されているように、騒音レベルの増加は、高調波のレベルが高くなり、これらの構造共鳴が一致する可能性があります」

•距離 1 m での等価騒音レベル  $L_{pA}$  は、ISO

11203の方法Q2による音響パワーレベルから決定されます。

- 観測表面領域Sは、音源を覆う箱型で指定されます。ここでは、音源と観測表面間の指定距離 1 m で計算します。

- この方法で取得された排出音圧レベルは、反射面上の自由野に近似した環境条件での領域Sの表面上の音圧の平均です」

参考:

(IEC 60034-9, ISO 3745 & 4871)

(IEC 60064-9条項8)

(ISO 4871節B2)

(IEC 60034条項5.2)

(IEC 60034-9条項6、注記2)

(IEC 60034-9修正条項1条項7)

(IEC 60034条項5.2)

(ISO 11203条項6.2.3)

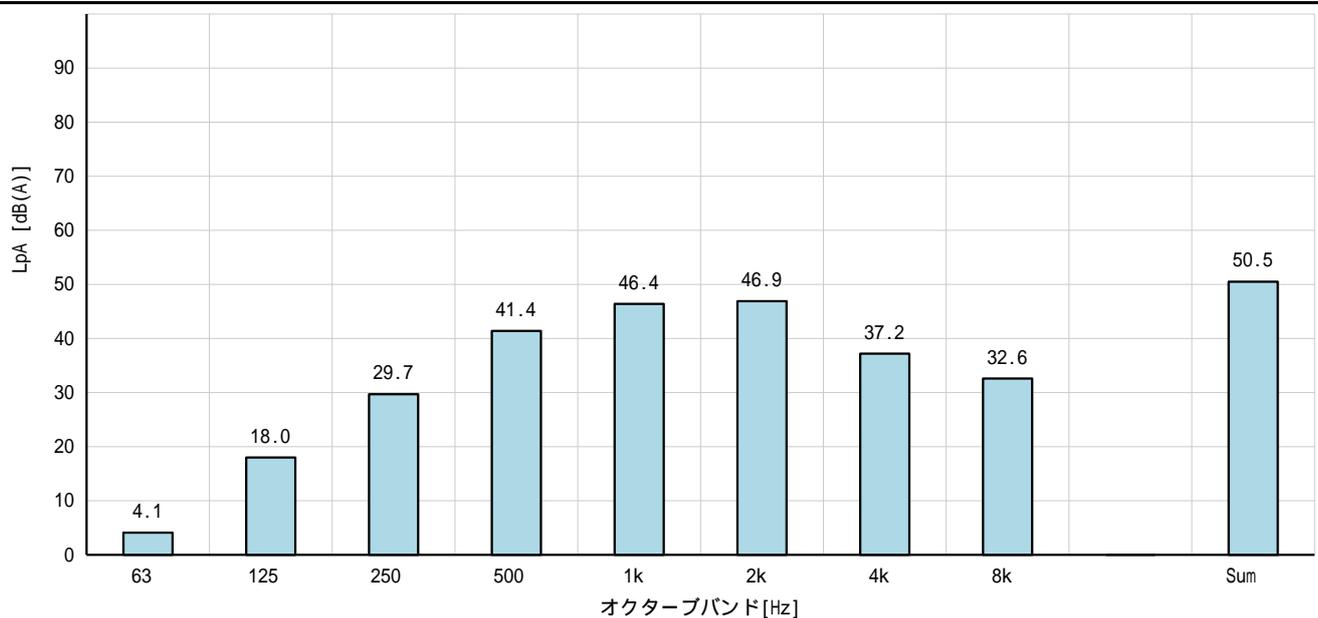
# 音響測定レポート

ISO 3745

オブジェクト: 電動機タイプ: MGE90SC 定格電圧: [V]  
f: [Hz]  
P2: [kW]  
n: [rpm]

テスト条件: Load: No load / Idle サウンド試験: [V]  
f: [Hz]  
P2: [kW]  
n: [rpm]

コメント:



音圧レベル  $L_{pA}$  : 50.5 [dB(A)]

音響パワーレベル  $L_{WA}$  : 62.5 [dB(A)]

注記:

•音響パワー値  $L_{WA}$  は IEC 60034-9、ISO 3745 および ISO 4871 に従って決定されています。

- 関連する不確かさ  $K_{WA} = 3$  [dB(A)]

- 「測定された騒音排出値および関連する不確かさの合計は、測定で発生する可能性がある値の範囲の上限を示します」

•IEC 60034-9の仕様に従って定格速度、負荷なしで検証された音響パワー。

- 「音響パワーレベルは、全負荷の状態において、通常負荷なしの状態よりも高くなります。一般に、換気騒音が優勢の場合、変化は小さくなります。

ただし、電磁雑音が優勢の場合、変化は大きくなる可能性があります」

- さらに、IEC

60034-9修正票1で説明されているように、騒音レベルの増加は、高調波のレベルが高くなり、これらの構造共鳴が一致する可能性があります」

•距離 1 m での等価騒音レベル  $L_{pA}$  は、ISO

11203の方法Q2による音響パワーレベルから決定されます。

- 観測表面領域Sは、音源を覆う箱型で指定されます。ここでは、音源と観測表面間の指定距離1 mで計算します。

- この方法で取得された排出音圧レベルは、反射面上の自由野に近似した環境条件での領域Sの表面上の音圧の平均です」

参考:

(IEC 60034-9, ISO 3745 & 4871)

(IEC 60064-9条項8)

(ISO 4871節B2)

(IEC 60034条項5.2)

(IEC 60034-9条項6、注記2)

(IEC 60034-9修正条項1条項7)

(IEC 60034条項5.2)

(ISO 11203条項6.2.3)

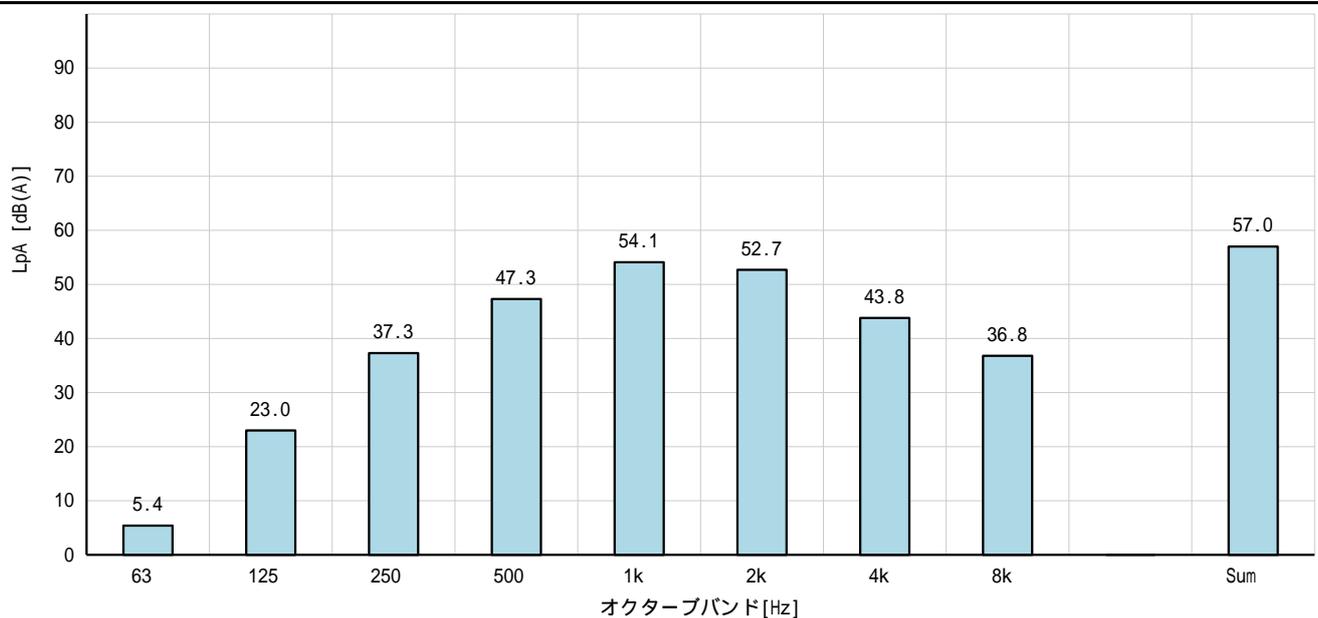
# 音響測定レポート

ISO 3745

オブジェクト: 電動機タイプ: MGE90SC 定格電圧: [V]  
 f: [Hz]  
 P2: [kW]  
 n: [rpm]

テスト条件: Load: No load / Idle サウンド試験: [V]  
 f: [Hz]  
 P2: [kW]  
 n: [rpm]

コメント:



音圧レベル  $L_{pA}$  : 57.0 [dB(A)]

音響パワーレベル  $L_{WA}$  : 69.5 [dB(A)]

注記:

•音響パワー値  $L_{WA}$  は IEC 60034-9、ISO 3745 および ISO 4871 に従って決定されています。

- 関連する不確かさ  $K_{WA} = 3$  [dB(A)]

- 「測定された騒音排出値および関連する不確かさの合計は、測定で発生する可能性がある値の範囲の上限を示します」

•IEC 60034-9の仕様に従って定格速度、負荷なしで検証された音響パワー。

- 「音響パワーレベルは、全負荷の状態において、通常負荷なしの状態よりも高くなります。一般に、換気騒音が優勢の場合、変化は小さくなります。

ただし、電磁雑音が優勢の場合、変化は大きくなる可能性があります」

- さらに、IEC

60034-9修正票1で説明されているように、騒音レベルの増加は、高調波のレベルが高くなり、これらの構造共鳴が一致する可能性があります」

•距離 1 m での等価騒音レベル  $L_{pA}$  は、ISO

11203の方法Q2による音響パワーレベルから決定されます。

- 観測表面領域Sは、音源を覆う箱型で指定されます。ここでは、音源と観測表面間の指定距離 1 m で計算します。

- この方法で取得された排出音圧レベルは、反射面上の自由野に近似した環境条件での領域Sの表面上の音圧の平均です」

参考:

(IEC 60034-9, ISO 3745 & 4871)

(IEC 60064-9条項8)

(ISO 4871節B2)

(IEC 60034条項5.2)

(IEC 60034-9条項6、注記2)

(IEC 60034-9修正条項1条項7)

(IEC 60034条項5.2)

(ISO 11203条項6.2.3)

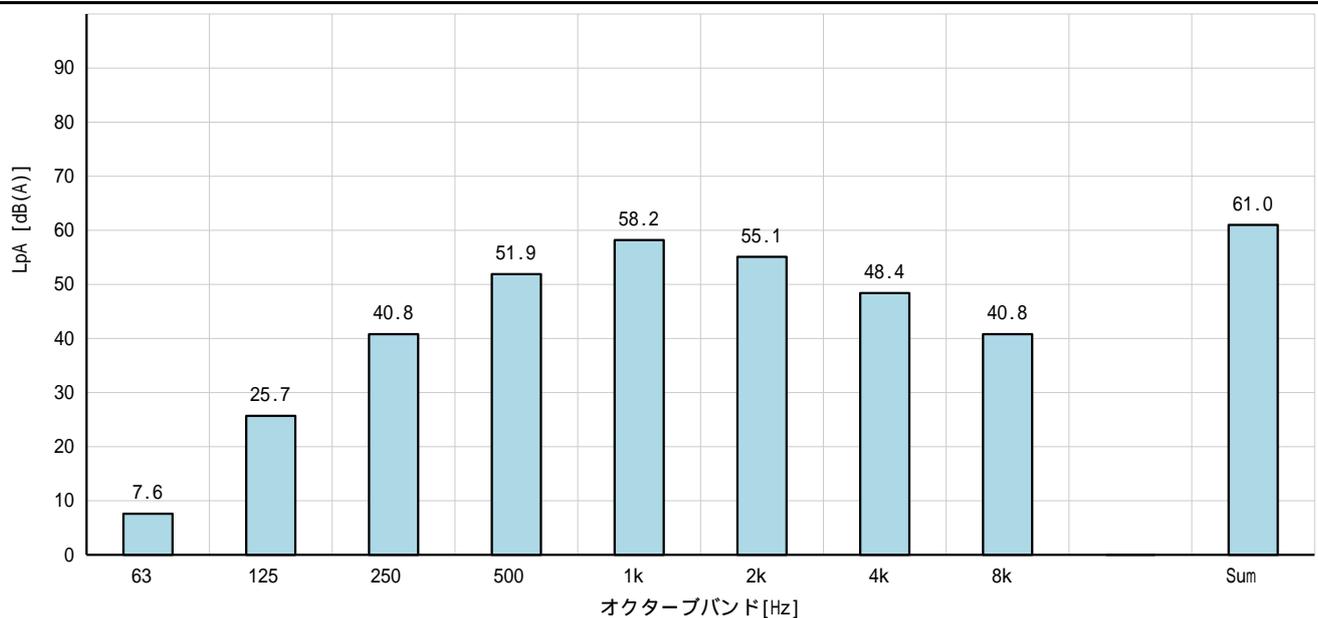
# 音響測定レポート

ISO 3745

オブジェクト: 電動機タイプ: MGE90SC 定格電圧: [V]  
 f: [Hz]  
 P2: [kW]  
 n: [rpm]

テスト条件: Load: No load / Idle サウンド試験: [V]  
 f: [Hz]  
 P2: [kW]  
 n: [rpm]

コメント:



音圧レベル  $L_{pA}$  : 61.0 [dB(A)]

音響パワーレベル  $L_{WA}$  : 73.0 [dB(A)]

注記:

•音響パワー値  $L_{WA}$  は IEC 60034-9、ISO 3745 および ISO 4871 に従って決定されています。

- 関連する不確かさ  $K_{WA} = 3$  [dB(A)]

- 「測定された騒音排出値および関連する不確かさの合計は、測定で発生する可能性がある値の範囲の上限を示します」

•IEC 60034-9の仕様に従って定格速度、負荷なしで検証された音響パワー。

- 「音響パワーレベルは、全負荷の状態において、通常負荷なしの状態よりも高くなります。一般に、換気騒音が優勢の場合、変化は小さくなります。

ただし、電磁雑音が優勢の場合、変化は大きくなる可能性があります」

- さらに、IEC

60034-9修正票1で説明されているように、騒音レベルの増加は、高調波のレベルが高くなり、これらの構造共鳴が一致する可能性があります」

•距離1 mでの等価騒音レベル  $L_{pA}$  は、ISO

11203の方法Q2による音響パワーレベルから決定されます。

- 観測表面領域Sは、音源を覆う箱型で指定されます。ここでは、音源と観測表面間の指定距離1 mで計算します。

- この方法で取得された排出音圧レベルは、反射面上の自由野に近似した環境条件での領域Sの表面上の音圧の平均です」

参考:

(IEC 60034-9, ISO 3745 & 4871)

(IEC 60064-9条項8)

(ISO 4871節B2)

(IEC 60034条項5.2)

(IEC 60034-9条項6、注記2)

(IEC 60034-9修正条項1条項7)

(IEC 60034条項5.2)

(ISO 11203条項6.2.3)

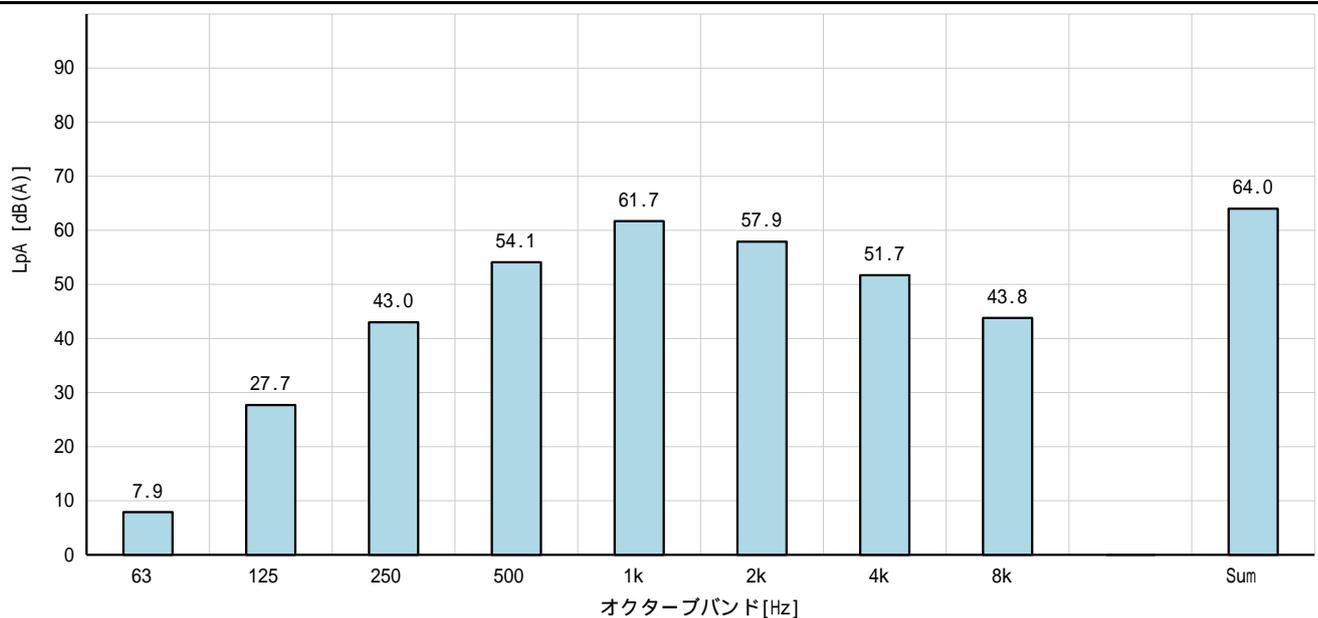
# 音響測定レポート

ISO 3745

オブジェクト: 電動機タイプ: MGE90SC 定格電圧: [V]  
 f: [Hz]  
 P2: [kW]  
 n: [rpm]

テスト条件: Load: No load / Idle サウンド試験: [V]  
 f: [Hz]  
 P2: [kW]  
 n: [rpm]

コメント:



音圧レベル  $L_{pA}$  : 64.0 [dB(A)]

音響パワーレベル  $L_{WA}$  : 76.0 [dB(A)]

注記:

•音響パワー値  $L_{WA}$  は IEC 60034-9、ISO 3745 および ISO 4871 に従って決定されています。

- 関連する不確かさ  $K_{WA} = 3$  [dB(A)]

- 「測定された騒音排出値および関連する不確かさの合計は、測定で発生する可能性がある値の範囲の上限を示します」

•IEC 60034-9の仕様に従って定格速度、負荷なしで検証された音響パワー。

- 「音響パワーレベルは、全負荷の状態において、通常負荷なしの状態よりも高くなります。一般に、換気騒音が優勢の場合、変化は小さくなります。

ただし、電磁雑音が優勢の場合、変化は大きくなる可能性があります」

- さらに、IEC

60034-9修正票1で説明されているように、騒音レベルの増加は、高調波のレベルが高くなり、これらの構造共鳴が一致する可能性があります」

•距離 1 m での等価騒音レベル  $L_{pA}$  は、ISO

11203の方法Q2による音響パワーレベルから決定されます。

- 観測表面領域Sは、音源を覆う箱型で指定されます。ここでは、音源と観測表面間の指定距離 1 m で計算します。

- この方法で取得された排出音圧レベルは、反射面上の自由野に近似した環境条件での領域Sの表面上の音圧の平均です」

参考:

(IEC 60034-9, ISO 3745 & 4871)

(IEC 60064-9条項8)

(ISO 4871節B2)

(IEC 60034条項5.2)

(IEC 60034-9条項6、注記2)

(IEC 60034-9修正条項1条項7)

(IEC 60034条項5.2)

(ISO 11203条項6.2.3)